

<福島県納税貯蓄組合連合会長賞>

このコンクールを通して学んだこと

福島県立会津学鳳中学校

3年 内田 芹菜

税とは何だろう。今まで税について考えたことはありませんでした。しかし今年、私には税について考える機会が与えられました。それは、夏休みの課題で出た「税に関する作文」です。ノートや消しゴムを買うたびに何気なく納めている税。自分たちが生きる社会で活用されている税。税について何も知らないということに気がついた私は、税について調べることにしました。

私は「税」と聞いて、「タックスヘイブン」が思い浮かびました。今年、「パナマ文書」が流出したというニュースを見たからです。パナマ文書とは租税による自分への負担を軽くしたり、なくしたりすることに関する文書で、そこには著名な政治家や富裕層の名前がたくさん載っていたそうです。日本人の個人名が約4百人、日本企業も約24企業あったことも分かりました。ニュースを見た時は「外国のお金持ちや偉い人の悪い事がばれちゃったんだな」と他人事のように軽く流してしまいました。しかし、実際には多くの日本人が関わっていました。驚いだし、なぜそんなことをしたのだろうと思いました。また、「タックスヘイブン」はある規定に該当した地域を指すことも初めて知りました。今までは特定の国の別名が「タックスヘイブン」だと思っていたのです。イギリス領のケイマン諸島、バージン諸島といったカリブ海の島国が多いそうです。

では、そんなに遠い国に逃げてまで払いたくない税は、何に使われているのでしょうか。税の約4分の1は、年金、介護、生活保護等の社会保障関係に使われています。また、中学生である私に一番身近な、文教及び科学振興費は全体の5パーセントです。文教及び科学振興には、学校教育も含まれています。

ここまで調べて、パナマ文書に記名されている日本人に怒りがわきました。日本では、小学校、中学校は義務教育に定められています。その教育期間中の教科書代は税金から出しています。使わない日はないくらい使用する道路や鉄道も、税金を使って整備されています。税金に助けられて生きているのに、税を払いたくないからと外国に逃げることは、卑怯だと感じました。50種類前後もある税金を払うことに嫌気がさすのも分からない訳ではありません。でも、私は将来、今まで育ててくれた方や未来を担う子供たちのために、しっかり税金を納めようと思います。

この税に関する作文を通して、税金の身近にある使われ方、税のありがたさが分かりました。税の使用方法を知ることは、税金を納める上で大切なことだと思います。今回は、税について何も知らなかった私には、税について調べるいいきっかけでした。これからも、機会を見つけて、税について調べようと思います。そして、税に感謝しながら、一日一日を大切に過ごしたいです。